

令和2年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」自己点検・評価結果

1. 自己点検・評価の実施

I R 委員会において、令和2年度に開講した数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）（以下、プログラム）のコア科目の自己点検・評価を実施した。

2. 自己点検・評価の対象

プログラムのコア科目である「情報学基礎演習」、「情報技術概論」および「データサイエンス」を自己点検・評価の対象とした。

3. 自己点検・評価の結果

(1) プログラムおよびプログラムを構成する科目の履修修得状況

令和2年度におけるコア科目の履修率※は43.5%（（再履修を含む）履修者数/令和2年度入学者数）である（表1）。

※ 情報学基礎演習、情報技術概論は必修科目

表1 令和2年度の履修者数と修了者数

	履修者数	修得者数	未修得者数	修得率 (%)
情報学基礎演習	269	252	17	93.7%
情報技術概論	266	248	18	93.2%
データサイエンス	117	99	7	84.6%

令和3年度以降の入学者はコア科目が全て卒業要件における必修科目になるので、履修率の目標である100%を達成できる予定である。修得状況は以下の通りである。

<情報学基礎演習>

秀 (51.3%)、良 (25.3%)、可 (10.8%)、不可 (6.3%)

* 情報技術概論

秀 (41.0%)、優 (27.8%)、良 (15.4%)、可 (9.0%)、不可 (6.8%)

* データサイエンス

秀 (15.8%)、優 (25.4%)、良 (24.6%)、可 (21.1%)、不可 (13.2%)

以上より、プログラムの履修状況・修得状況ともに概ね良好であると評価できる。

(2) 授業の実施方法および成績評価方法

シラバスに記載されている到達目標や成績評価方法などは学生支援・教育センターで確認しており、カリキュラム・ポリシーに沿って授業設計が行われている。担当教員へのヒアリングにより、シラバス等であらかじめ開示した評価方法および評価基準に基づき評価を行っている事を確認した。授業毎に下記の授業評価アンケートを実施しており、アンケート結果を参考に授業計画の改善を図っている。

以上より、授業の実施方法および成績評価方法は良好であると評価できる。

(3) 授業評価アンケート結果および学生の興味・関心・理解度

コア科目における授業評価アンケートの結果（抜粋）は以下の通りである。

<情報学基礎演習>

*総合的に判断して、この授業の満足度は何点ですか？

肯定的な回答（82.8%） 中間的な回答（12.9%） 否定的な回答（4.3%）

*授業は、全体的にみて理解しやすかったですか？

肯定的な回答（88.5%） 中間的な回答（7.2%） 否定的な回答（4.3%）

*授業内容について、興味・関心を持ってましたか？

肯定的な回答（87.1%） 中間的な回答（10.5%） 否定的な回答（2.4%）

<情報技術概論>

*総合的に判断して、この授業の満足度は何点ですか？

肯定的な回答（71.1%） 中間的な回答（23.0%） 否定的な回答（5.9%）

*授業は、全体的にみて理解しやすかったですか？

肯定的な回答（67.2%） 中間的な回答（20.1%） 否定的な回答（12.7%）

*授業内容について、興味・関心を持ってましたか？

肯定的な回答（80.9%） 中間的な回答（10.3%） 否定的な回答（8.8%）

<データサイエンス>

*総合的に判断して、この授業の満足度は何点ですか？

肯定的な回答（79.3%） 中間的な回答（17.1%） 否定的な回答（3.7%）

*授業は、全体的にみて理解しやすかったですか？

肯定的な回答（62.2%） 中間的な回答（19.5%） 否定的な回答（18.3%）

*授業内容について、興味・関心を持ってましたか？

肯定的な回答（81.7%） 中間的な回答（11.0%） 否定的な回答（7.3%）

「興味・関心」に関する回答は全ての科目が8割を超えており、データサイエンスの基盤

となる数理・情報の重要性が認識されていることが分かる。一方、「理解のしやすさ」に関する回答は否定的な回答が一定数あり、教育方法及び内容改善の検討の余地がある。これらの情報を担当教員と共有し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進委員会と連携しながらFD活動を実施し、改善を検討する。

以上より、授業評価アンケート結果および学生の興味・関心・理解度は概ね良好であると評価する。

4. 総評

全体を通して、プログラムの実施状況は概ね良好である。本自己点検・評価書を企画連絡会議および数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進委員会に報告し、プログラムの改善を図る。また、IR委員会においても自己点検・評価の方法を検討する。